

モデル少年消防クラブ募集要綱

1 応募する少年消防クラブ

応募する少年消防クラブは、次のような活動を行うものであること。

①少年消防クラブとして別紙の少年消防クラブ活動モデルに掲げるものなどを含めて活発に活動することとしており、特に消防・防災の実技体験についても積極的に取り組もうとするものであること。そのため、消防防災の実技については消防職員、消防団員による指導が行われることとされていること。

②クラブメンバーには、中学生以上が加入しており、あるいは加入を予定しているものであること。

2 応募手続き

市町村は、管内に応募しようとする少年消防クラブがあるときは、別紙申出書に必要事項を記入し、都道府県消防協会に提出すること。

都道府県消防協会は、市町村の申出を取りまとめ、少年消防クラブ活性化推進会議（以下、「推進会議」という。）に提出すること。

3 応募期限

市町村は、平成 22 年 3 月 20 日までに都道府県消防協会に申出書を提出し、都道府県消防協会は、推進会議に平成 22 年 3 月 31 日までに提出すること。

4 モデル少年消防クラブの決定

推進会議は、平成 22 年 4 月末までにモデル少年消防クラブを決定し、都道府県消防協会を經由して申出のあった市町村に通知すること。

5 モデル活動の期間

平成 22 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの 2 年間とすること。

6 モデル少年消防クラブの活動状況に関する情報提供

推進会議は、モデル少年消防クラブの活動状況に関する情報を収集して、全国のモデルクラブに提供するものであること。

参考

モデル少年消防クラブに対する支援

(1) 活動服の支給

モデル少年消防クラブに、別紙に示す活動服を交付する。

(2) 資機材等の購入助成

モデル少年消防クラブの活動に必要な別紙に掲げる資機材等の購入について、市町

村に対し助成する。原則として助成率は全額、合計助成額は 1 クラブ当たり 100 万円以内とするが、全国の要望状況によっては、助成率や助成額を変更することがある。

(3) 実技指導マニュアルの交付

モデル少年消防クラブの指導者が、クラブ員に実技等の指導を行う場合の留意点、指導要領を収録した DVD を交付する。

(4) 指導者研修会の開催

モデル少年消防クラブの指導者に対する全国研修会を開催する。(宿泊・交通費を支給)

別 紙

少年消防クラブ活動モデル

	項目	内容
① 消防・防災についての学習	消防機関や関係団体の活動	消防機関等の活動を学習するため、消防関係施設を訪問し、消防職員、消防団員、婦人防火クラブ員、自主防災組織や災害ボランティア団体のリーダーなどから活動状況の説明を受ける。また、活動状況等の見学、同行などして学習する。
	災害の知識	災害（風水害、地震、津波、高潮、土砂災害等）の種類、特徴、しくみを知り、過去の災害の経験を学び、災害に備えるため、日頃から必要なことがらを学ぶ。インターネット（「eカレッジ」、「消防防災博物館」等）も活用する。
	地域を知る	防災探検隊、防災マップの作成を通じて、地域の危険な個所、避難場所等を知る。
② 消防・防災の実技体験	通報	火災、救急時に 119 番通報をするとき、伝えるべき事項を体験し学ぶ。
	避難	災害に遭遇した場合、どのような方法でどこに避難するのか体験する。
	初期消火	(1) 消火器を使って消火の体験をする。
		(2) 小型動力ポンプ（D級ポンプ等）を使って消火の体験をする。
		(3) 学校等の屋内消火栓を使って消火の体験をする。
	救助	バールや小型ジャッキ、スコップ等学校や家庭にある身近な道具を用いた救助方法を体験する
	応急手当	止血法、心肺蘇生法（心臓マッサージ、人工呼吸、AED等）、簡易担架による搬送などを体験する。
図上訓練	DIG、クロスロードなどの災害図上訓練を体験し、災害時の対応について学ぶ。	
避難所体験	キャンプでの炊飯、宿泊など避難所での生活に近似する体験を通じ、避難所での生活や運営を知る。	

(注1) モデルクラブにおいては、これらのモデルからその実情に応じた活動内容を実施してください。

反復して学習・体験することとし、特に消防実技については反復練習によって技術レベルを高めるよう努めてください。

(注2) 総務省消防庁において防災教材「チャレンジ!防災48」を作成・配布することとしていますので、これも参考にしてください。下記アドレスでご覧いただけます。

http://www.fdma.go.jp/html/life/pdf/bousaikyouzai/01_bousaikyouzai.pdf

助成する資機材一覧

資機材	
<初期消火用資機材>	D級小型可搬式ポンプ
<災害救助用資機材>	
	救助工具収納箱
	ヘルメット
	手袋
	防煙マスク
	ハンド型メガフォン（トラメガ）
	リヤカー（ノーパンク）
	一輪車
	脚立
<救急救命資機材>	
	人体モデル（ケース付）
	AEDトレーナー
	付属消耗品（三角巾、マスク、洗浄綿）

少年消防クラブ 活動服

※支給する活動服には、左袖のマジックテープ（ワッペン貼付用）及び背文字（日本少年消防クラブ）はありません。

